



学校便り

長崎県立日見中学校

令和5年2月15日

第16号

文責 校長 平野

～ 2月の勝者～

年があけるとともに、
中学入試、大学共通テスト、
高校公立前期選抜・私立特別選抜と次々と入試が実施されています。



「君たちが希望の中学校に合格できたのは、『父親の経済力』そして『母親の狂気』です」という衝撃のセリフから始まる標記タイトルのドラマがありました。

中学校受験をテーマにしたものです。

受験シーズンを迎えた今だからこそ、もう一度子ども達にとって受験とは何か、考えてみて欲しいと思います。

本当の“2月の勝者”とは・・・、それは合格や不合格を超えたところにあるはずです。

【 ロードレース大会 】

1月28日(土)、標記大会が行われました。本校も、2.5^{キロ}の部と駅伝の部に参加しました。中学校の部の優勝は以下の通りです。

2.5^{キロ}の部

	男子	女子
3年	西山 大斗	渡邊 姫乃
2年	浦田 治輝	福田 奈緒
1年	小林 賢臣	前田 希世

駅伝の部

バスケC (浦田・高比良^勇・小森・松岡^福)

卒業生の 岩永 君 や 森悠 君 達も参加して、高校で鍛えた雄姿を後輩達に示してくれました。



今年のニューイヤー駅伝で長崎代表として活躍した三菱重工マラソン部も特別参加。6区を走った注目の 定方 俊樹 選手も一緒に走って大会を盛り上げてくれました。



雪のちらつくなかでの実施でしたが、子ども達にとってかけがえのないひと時でした。

育成協議会の西田 会長様 をはじめ関係の方々に感謝します。参加賞のメロンパンもおいしくいただきました。



【 行事予定 】

2月

- 14日(火) 新入生保護者説明会
- 16日(木) 学年末テスト1日目(1.2年)
- 17日(金) 学年末テスト2日目(1.2年)
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) 授業参観/育友会(1.2年/5校時)

3月

- 7日(火) 公立高校 後期選抜 1日目
- 8日(水) 公立高校 後期選抜 2日目
新入生説明会(小6児童)
- 9日(木) 生徒会送別行事
- 13日(月) 卒業式予行練習
- 14日(火) 卒業証書授与式
- 15日(水) 公立高校 合格発表

※裏面に掲載した職業講話・地域訪問については
2月24日(金) 授業参観で発表予定です。

【 職業講話 】

1月30日(月)、1年生は職業について話を聞かせていただく機会を設けました。

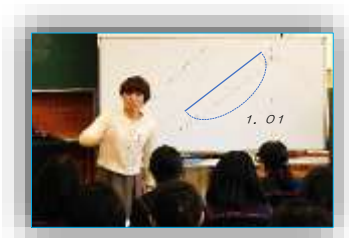
講師は、ロゼヘア&ネイルの浦川 純一 様、東武トップツアーズ 松崎 聖 様、ジブラルタ生命保険 野口 千恵子 様でした。

浦川 様 は“いかに可愛くカッコよく、若々しく、笑顔にできるか”を考えながら仕事をしているということや“オシャレでキラキラ”と思われているかも知れないが、実は大変で、技術の一つ一つを習得するには時間がかかり、挫折しそうになることも多い、といったことを話されました。

また、松崎 様 のお話は、海外に行きたくて旅行業界に入ったことや入ってみると自分が想像していた世界とはかけ離れていたこと、決して語学が堪能だったわけではなかったことや、仕事をするうえで俯瞰する力や洞察力、感謝の想いと一期一会を大切にすることが大事だと思う、といったことでした。

最後に、野口 様 のお話は、好きなことや目の前のことを一つ一つやって、積み上げることが大事だとか、

仕事は人の役に立つことだし、人の役に立つのは楽しいということを知りたい、という内容でした。



3人に共通していたメッセージは「仕事をしていると必ず目の前に力(ちから)が現れる」こと、そして、それを超えていくためには「自分の良さ」と向き合いながら、今を一日一日一生懸命生きることが大切」だということでした。

経験に基づいたお話は、心に残るものばかりで、子ども達はこれからの学校生活に生かしていきたくてという強い決意を持つことができました。

【 地域訪問 】

2月7日(火)、2年生は大浦海岸通りの居留地を中心に地域訪問を行いました。

江戸時代、鎖国政策によって日本は国を閉ざしていました。

その中で唯一開かれていたのが長崎です。外国の人が住んでいた場所を“居留地”といいます。

交通・情報が発達した今、昔以上に世界の人達と仲良くすることが求められています。

グローバル化が進み、国際交流が盛んになったからこそ、長崎に住む先人が、かつてどのように異国の人と暮らしてきたのかを知ることが大切だと考え、実施しました。



【 新入生 保護者説明会 】

2月14日(火)、標記説明会を行いました。

“未来からの留学生”と言われる子ども達からこれからどのような意識を持って中学生時代を過ごすべきなのか、桃太郎の絵を示しながら話しました。



鬼ヶ島を見つけた雉のように、物事を俯瞰する“智力”、屏を乗り越えて鬼の屋敷の門を中から開けた猿のように、機敏に動く“体力”、真っ先に鬼に飛びかかった犬のように、勇気をもって事にあたる“精神力”を身に付けて欲しいということです。

卒業・入学へと向かうこの時期に、理想の未来を創るための「力」と「志」を身につけるための自覚を持ってもらいたい、と考えています。

※3月8日(水)新入生向けの説明会では、中学3年生が実行委員となり、案内や学校生活について話します。